

第2回 酒田港カーボンニュートラルポート(CNP)検討会議事概要

日時：令和3年10月13日(水) 15:00～17:00

場所：酒田勤労者福祉センター 3階多目的ホール

【議事概要】

- 新たにカメイ株式会社が構成員に追加された。
- 構成員の東北エプソン株式会社、前田製管株式会社、日本重化学工業株式会社、サミット酒田パワー株式会社、酒田海陸運送株式会社から各社の取組について説明があった。
- 事務局より「酒田港CNP検討とりまとめ方針概要案」が示され、了承された。
- 次回は12月24日(金)に開催予定。

【意見交換での主なコメント】

- とりまとめ方針概要案は事務局案で良い。短期、中期、長期の取組方針についてプレイヤーを明確にしてほしい。メインとして取り組む企業、サブとして取り組む企業がとりまとめの中に盛り込まれると自分事となるのではないか。
- エネルギーを使う側の立場では、CNの実現は温室効果ガスを排出しないエネルギー源を確保するのかが根底にある。グリーン電力という観点であれば風力発電、アンモニア混焼、水素混焼が手段としてあるのではないか。周辺技術として必要な技術、あるいは環境が複合的に合わさって初めてエコシステムになる。ベースとなるグリーン電力を港の中でどのように活用するのが大切。
- 短期で何かを成し遂げることを目標とするのではなく、最終的には酒田市、庄内地域にCNをベースにした事業が根付くことがゴールである。短期、中期、それぞれを分けた単独の検討ではなく、長期のビジネスモデルを見据えた上での短期を位置づけるべきではないか。